

令和7年度 「第2回 北区居宅介護支援事業者連絡会・サービス事業者連絡会」勉強会を開催しました。

10月24日(金)、「第2回 北区居宅介護支援事業者連絡会・サービス事業者連絡会」勉強会を開催しました。

第1部では、名古屋市北区役所総務課 早川 佳孝 課長補佐より「北区の防災と災害への備えについて」をテーマに勉強会を開催しました。当日は64名のケアマネジャー・サービス事業者の方に参加いただきました。

講義では主に次のポイントについて詳しくお話しいただきました。

- ・北区の地理的特性は庄内川と矢田川の2本の大きな河川が、区中心部を東西に流れている
- ・楠地域には、多くの中小河川が流れており、北区は風水害のリスクが非常に高いところである
- ・南海トラフ地震で想定される震度は最大6強。区内の1部地域では液状化リスクの高いところがある
- ・大杉、杉村学区は、古い木造住宅が密集しており、建物の倒壊や火災・延焼の危険が高い地域である
- ・指定緊急避難場所：命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所(災害の種類ごとに異なる)
- ・指定避難所：自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るためのところ
- ・名古屋市防災アプリもあります
- ・家庭での備蓄、ローリングストックのススメ：住む場所によっては2週間以上の食料が必要になる

その後のグループワークでは、実際の災害を想定した机上訓練を実施。実際の場面を想定して話し合う中で、「こんな時どう動く?」「利用者さんをどう守る?」などたくさんの意見やアイディアが生まれました。みんなで考えることで、災害時に必要な連携を改めて実感でき、とても有意義な研修となりました。

